

# 片瀬社協 だより

# しあわせ

平成24年6月25日発行  
 編集・発行  
 片瀬地区社会福祉協議会  
 藤沢市片瀬3丁目9番6号  
 片瀬市民センター  
 ☎ 0466 (27) 2711



## 座談会

### 民生委員って、何をしてくれるの？

**司会** 本日は片瀬地区の民生委員の中から5人の方にお集まりいただき、どんな役割をしているのかを中心に話していただきます。これが地域の皆さんに民生委員をより理解し、身近に感じていただく一助になればと思っております。皆さんどうぞよろしくお願います。

**A** 私たち民生委員は、正式には「民生委員児童委員」といって、片瀬地区には30名います。その中の2名は「主任児童委員」で、片瀬全体の子どもについて担当し、他の28名は主に高齢の方に関わっています。地域福祉の推進役として、高齢者や、障がい者、児童、子育て中の家族、ひとり親世帯、生活困窮世帯などの皆さんの生活上のさまざまな相談に応じて、行政とのパイプ役をするのが務めです。

す。主な役割のひとつとしては、年に一度、6月〜7月に、現況調査のために65歳以上の高齢者世帯のお宅を訪問します。これは、災害時の避難支援対策や高齢者施策の推進等に役立てるための市の調査です。民生委員が何うときには、いつも身分証明書を携帯していますので、ご協力をお願いします。また高齢者の方を訪問して、困っていることなどがあれば、行政につなげるのも大事な役割です。その他には、9月に行われる敬老会など片瀬地区社会福祉協議会と協力した活動や、10月のふれあいまつりにも参加しています。

**B** 片瀬地区は高齢で独り暮らしの方が増えていますね。民生委員は、最近増えているいわゆる孤立死や孤独死などを防ぐ意味合いも込めて、そうした高齢の方々を見守っています。このような状況の中で、近所の方々のご協力には大変感謝をしています。

**C** 介護保険制度ができる前は、独り暮らしの方のことがいつも気がかりでしたが、制度が出来てからは必要であればヘルパーが定期的に入ってくださるので、とても有り難く思います。私たち民生委員は、ケアマネージャーやヘルパーの仕事とは別に、同じ地域に住むものとして、高齢者の日常的な不安を伺うなどしています。

**D** 片瀬地区全体を2名の主任児童委員が担当して、赤ちゃんから18歳までのお子さんと養育者を見守り、必要に応じて関わっています。学校との連携や、子どもに関する行事への出席などを通じて、

支援が必要と思われる時には専門機関につなぎます。赤ちゃんを持つお母さん方と早い時期から関わりを持つことの大切さを考えて、片瀬ボランティアセンターで「こここ広場」を開設しています。片瀬地区\*社協、\*民協、\*青少協の皆さんと協力して、毎月第1を除く木曜日の10時から15時まで開いています。毎回たくさんのお親子が来てくれて、地域でこのような場が必要とされているんだということを感じます。

**司会** 「こここ広場」にいらっしゃるお母さん方は、どのようなことを求めているのでしょうか？  
**D** 核家族化の時代なので、日中は二人きりで、不安を抱えながら、孤独な子育てを苦しく感じている方が増えていきますね。初めての子育てはわからないことばかりで、幸せなはずの子育ても苦しい子育てになりがちです。  
 なので「こここ広場」で、子育て中のお母さん同士、情報交換をしたり気持ちを共有したりして、心強くなるのが大切だと思ったり、民生委員が見守っていることでも安心してもらえます。また「こここ広場」では臨床心理士の方に相談もできます。子育て中のお母さんが笑顔でいられることがいち

ばんです。お母さんの気持ちにゆとりができる子育ては楽しくなるし、子どもをゆとりを持って見ることができません。私たちはお母さんの心を和らげてあげることが心がけています。

**司会** テレビなどで報じられている児童虐待についてはどうですか？

**D** ほとんどの場合、虐待といっても故意ではなく、泣きやまない赤ちゃんにどうしてよいかわからなくてパニックになったり、ちょっと精神的に弱って養育が出来なくなる…などということが主な原因のようですね。私だけが頑張らないといけないと思ったり、誰にも助けてもらえない、という養育不安によるものもあるようです。

**司会** そのような場合は、行政とどうつなげていくのですか。  
**D** 周囲の方などから大変そうな様子をお聞きした場合、主任児童委員が個人的に直接訪問するのではなく、福祉関係の保健師さんとか、市の子育て支援課などの専門機関につないで、様子を見ていただきます。その後、私たちの見守りが必要な場合には、保育園や学校の先生、担当地区の民生委員などと連携して、「にこにこ広場」のようなところにお誘いしたり、他のお母さん方と交わっていただ

くなど、気持ちにゆとりが持てる子育てのお手伝いをします。

虐待という言葉が表に出過ぎてしまうと、相談をしたいお母さんでも「こういうことを相談すると虐待と思われるしまうんじゃないか」とためらうことがあり、虐待という言葉を使うのはできるだけ避けています。誰もが不安に思っ



のは当たり前前のことで、お母さん方の気持ちに寄り添って、気軽に相談してもらえらる民生委員でありたいと思っています。

**A** 私たちの頃と今の子育ては違いますねえ。私たちの時は、今ほど情報が多くない分、不安もありませんでした。普通に暮らしている中で、自然に子どもを育て、あれを少なくちゃいけない、これもしなくちゃいけない、というのが

ありませんでしたものね。  
**司会** Eさんは、民生委員になつて間もないんですね。

**E** まだ一年と少しです。マンションが多くて、新しく転入してくる方が多い地区で、初めてお会いする方への訪問は今でも緊張します。依頼があればすぐに対応していますが、これからもっと普段から訪問をして皆さんの状況を把握しておきたいと思っています。

**C** 年に一度の現況調査は、何も問題がない方についても、ふだんの生活状況を把握するよい機会になりますね。特に問題なくお暮らした方が、少しお会いしない間に弱つていられることがあります。民生委員は行政とのパイプ役ですから、支援が必要だとわかつたら、市の高齢福祉課や包括支援センターに連絡をします。ただ、65歳以下の方については市からの情報はなく、現況調査の際にも訪問することがないので、支援を必要の方がいてもわからないのが実情です。

**A** 民生委員が把握しているのは65歳以上の方のみで、残念ながら担当地区内のすべての方を把握しているわけはありません。子どもがいる世帯は、学校などを通じてどこかでつながることが出来ますが、65歳以下の方が、もし困っ

ていらしても、こちらからつなげる手段がないのですよね。

**C** 以前、日常生活が困難となった65歳前の方が、ご自身で市に連絡をして保護されたことがありまして。ご本人が市に連絡をしたことで、初めてその方の状況を知ることができました。

**A** 65歳以下の方については民生委員からお訪ねする機会がないので、困っていることがあれば、近くの民生委員や、包括支援センター、市役所に、ためらわずにSOSを出していただけると有り難いですね。

**司会** 災害時の対応については、どのようなになっていますか。

**A** まずは自分の身の安全を確保して、その後、要援護者名簿にしたがつて安否の確認をすることになっていきます。今後は、地域の自治会や自主防災組織と協力していく予定です。

**司会** 本日はありがとうございました。これからも地域のためにがんばってください。

\*社協〓社会福祉協議会

\*民協〓民生委員児童委員協議会

\*青少協〓青少年育成協力会

今回の題字「しあわせ」は  
甘粕忠雄様(片瀬三丁目)に  
書いていただきました。

## ぐるーぷ藤 見学レポート

平成23年11月16日



ぐるーぷ藤一番館・藤が岡

瀟洒な建物のエントランスで「立派だなあ」と思わず口にしてしまいました。ここは藤が岡の高台にあるNPO法人「ぐるーぷ藤一番館・藤が岡」。市民出資による日本初の複合型福祉マンションです。

「複合型」というのは、子育てを支援する場所と人手、精神障がい者が社会と触れ合つて生きられる住まい、ケアを必要なお年寄りが安心して暮らせる終の棲家、障がい者が働ける場所、必要なお年寄りをお年寄りを預かってくれる場所、なんでも相談できる窓口など、お

よそ福祉に必要なものが備わっているマンションということですが。

「みんなが一つ屋根の下」というコンセプトの下、3階と4階は26室のケア付きマンション、2階は精神障がい者のグループルーム、看護・介護ステーション、小規模多機能施設宿泊ルーム、そして1階にレストラン、幼児教室どんぐり園、福祉相談室、小規模多機能デイルームという施設が集まっています。

ぐるーぷ藤は、市民活動であっても事業として成り立つように、働く人の賃金にもこだわっています。スタッフのスキルアップのために、年間150回を超える研修活動も行っています。

ぐるーぷ藤の代表である鷲尾公子さんには夢があるそうです。現在、二番館の構想がおよそ出来ている段階ですが、三番館が自分の役割のゴールであり、夢の実現とすることでした。

ユニークなコンセプトだけでなく、その立ち上げがビジネス経験のない廃食油石けん活動を行っていた5人の専業主婦によるものであった点も注目され、マスコミに取り上げられる機会も多いようです。プロのビジネスマンが想像力を失いつつあるといわれる今、素人パワーに圧倒されました。

## 社協総会

平成二十四年五月八日(火)、平成二十四年度社会福祉協議会総会がおこなわれました。

平成二十三年度事業報告及び収支決算が可決され、本年度の事業方針も発表されました。高齢化が急速に進む中、住み慣れた所で安心して暮らしやすい地域をつくり、助け合い励まし合いながら事業を実施推進していきます。

## 私の健康法

片瀬三丁目 秋元 稔(86)



あーるけ

あるけ

私は子どものころより腕白に育ち健康についてあまり気にせず、家業の木工として六十年町場住宅造りに専念してまいりました。今日八十六歳を迎えることができ先祖に感謝し、朝夕佛前にて読経(日蓮宗)が一日の始まりです。

七十歳の時、老化防止の為に始めた木製模型建築物(龍口寺五重塔、川崎大師の八角五重塔、小田原城、多宝塔、寺、古代建築物十五点)を余暇に丸五年間、夜間を含めミニチュア造りに没頭。

平成十三年二月、藤沢駅地下道ギャラリーに出展。無我夢中の行動が健康を損ねました。健康管理が悪かった様です。

七十六歳の時、健康診断にて弁膜症と診断され手術を行い、幸いにも今日まで元気に生活をしており、健康で暮らすことのしあわせを痛感しております。

昔から、健全な身体があつて初めて健全な精神が宿ると言われておりますように、健康こそすべての基本であり、この健康を保つ為にまず必要なことは足腰を丈夫にすることだと言われております。

では足腰を丈夫にするにはどうしたら良いか。「歩くことです」と健康本に書かれております。

年を取ったからといって引き込んではいけません。若いから大丈夫と油断することも禁物です。

健康こそ自身の為、家族の為、ひいては町の為、何物にも変えがたい財産であります。

私の健康法は病んで以来十年間、朝夕の歩行です。

歩幅・歩速は人により違いますが、私は一分で百十歩、計算から一時間半で一万歩を目標としています。毎日の朝夕の歩行が私の健康法です。

これからも歩き続けたいと思います。

# しあわせとは



自分は子どもの頃、父の事があまり好きでなかった。頑固で融通が利かず、店の仕事ばかりで、家族旅行どころか、父兄参観、卒業式にも来た記憶がない程の父親だからだ。そのくせ、仕事でもないボランティアの消防団に精を出し、普段はどこそこの火災では俺が放水したお陰で早期鎮火した、と自慢気に話し、ひとたび、片瀬分遣所のサイレンが鳴れば、深夜だろうが、配達中だろうが、火災現場に駆け付け、消火活動にあたる。自分だけでなく家族全員が父の消防団活動に少なからず迷惑を被っていました。



## 自分にとっての「しあわせ」

田中 徳治（片瀬三丁目）

参考までに、消防官と消防団を区別すると、消火をするという行為は同じだが、その由来や対象が全く異なる。消防官は江戸時代の大名旗本が自らの武家屋敷だけを守る目的で組織した自衛消防組織が由来で、給金のある職業消防官である。対して、町火消しから派生し、地域を守る自主防災組織が消防団である。地域ごとに組織され、団員は普段は仕事をもち、災害時に現場に向かうボランティア集団である。また、災害活動危険の目安というわけではないが、3・11震災での殉職者は、警察官30名、消防職員27名に対し、消防団員253名と、消防団員の犠牲者が大多数を占め、住民の避難誘導や水門閉鎖に従事中等が主な原因だった。

自分が消防士を拝命した時、父は「消防は暇で良い職業だから、お前に向いている。」と言われた。出勤したくて仕方がない自分に戒めを込めた言葉だった。また、消防士になり災害現場で何度となく地域の消防団の方々に助けられ、

大きな怪我も無く今まで勤続してこれました。自分は23年間の消防人生で、万が一の災害時に信頼される「しあわせ」、災害出動が無い「しあわせ」という二つの「しあわせ」を父と消防団から教えられました。

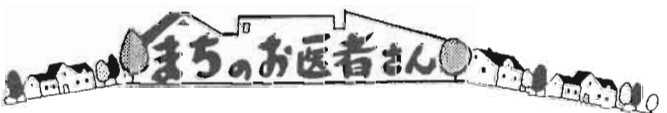
## 新任職員の紹介



小野 秀樹  
市民センター長・公民館長

ございます。

今年の四月、着任しました小野秀樹でございます。



## 子どもたちの今と未来のために

片瀬子どもクリニック（片瀬三丁目）  
片倉 茂樹

開業当初に診察した時は私の腰ぐらいの背丈だった子どもたちが、6年たった今、私と肩を並べるようになりました。日々成長する子どもたちと同じように、小児科医の医療も日進月歩で進歩しています。例えば、20年ほど前には、アレルギー性の小児喘息は予防が出来ず、発作が出たら慌てて病院に駆け込むしか方法はありませんでしたが、現在は、「他のお子さん方と全く同じ生活ができるよう

「開業当初に診察した時は私の腰ぐらいの背丈だった子どもたちが、6年たった今、私と肩を並べるようになりました。日々成長する子どもたちと同じように、小児科医の医療も日進月歩で進歩しています。例えば、20年ほど前には、アレルギー性の小児喘息は予防が出来ず、発作が出たら慌てて病院に駆け込むしか方法はありませんでしたが、現在は、「他のお子さん方と全く同じ生活ができるよう

個人の価値観の多様化は少子高齢化・核家族化がすすむ現代社会において、人と人とのつながりが大切になっていきます。

片瀬地区では、社協の活動が、地域のふれあいやネットワークづくりなどを担っています。皆様方との連携を密に地域福祉の推進を図り、市民の皆様が安心して暮らせる「郷土愛あふれる藤沢」の実現に取り組んでまいります。今後ともよろしくお願ひします。



金子 隆 課長

ございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

今年四月、着任しました金子隆でございます。

## 編集後記

東日本大震災から一年が過ぎましたが、被災地では復興に向け住み慣れた故郷を大切に思い、励ましながら勇気と希望で共助の絆を広げています。子ども達が安心して暮らせる環境を、そして一日も早い復興を願うばかりです。（二見桃子）